



2022年5月10日

各位

会社名 エレコム株式会社
代表者名 取締役社長 柴田 幸生
(コード番号 : 6750 東証プライム)
問合せ先 常務取締役 田中 昌樹
電話番号 06-6229-2707

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年11月9日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期予想につきまして、本日公表しました実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）連結業績予想数値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年11月9日公表)	百万円 105,500	百万円 11,600	百万円 11,700	百万円 7,860	円銭 86.29
実績値 (B)	107,358	13,945	14,398	10,398	114.91
増減額 (B-A)	1,858	2,345	2,698	2,538	
増減率 (%)	1.8	20.2	23.1	32.3	
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期) ^(注1)	107,220	15,140	15,207	10,752	119.55 ^(注2)

(注1) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

(注2) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異の理由

売上高については、グループ会社においてコロナ禍で落ち込んでいたハギワラソリューションズをはじめとしたエンベデッド関連の事業が好調に推移しました。また、ECにおいて競合対策として戦略的な商品投入や各プラットフォームの分析を実施、特徴を踏まえた戦略を取った結果、昨年のGIGAスクールや巣ごもり需要の反動を抑えて、業績予想時には減収と予想しておりましたが増収に転じました。

営業利益については、販売条件の見直しにより売上総利益が押し上げられました。

加えて、業績予想時に想定していた半導体不足等に起因する製品原価の上昇及び円安による為替の影響を最小限に抑えたことにより、営業利益は改善しました。併せて、販売管理費の抑制も営業利益に寄与しております。

当期純利益については、グループ会社の株式譲渡に伴う税金費用の減少により、改善しました。

以上の通り、業績予想と実績値の差異が発生しました。

以上